

調査・研修報告書（議員用）

報告者： 前田 智永

実施場所：日本青年館ホテル	実施日：令和5年10月17日～18日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） こども真ん中政策を日本政府は大きく進めようとしている。本市としても今後さらなるこども真ん中政策を進めて頂きたいと考える。他市町の先行事例や国の考え方を学び、本市の市民にとってより良い政策実現を目指したい。少子高齢化、過疎化、人口減少が課題である本市であるが、庄原がいちばん、庄原だったら安心して出産、育児をしたいと思えるような政策、事業実行をしてまいりたい。	
■参考とすべき事項 育児はひとりのできる分量ではない。また、育児支援は女性支援ではない。お父さんお母さんのサポートはもちろん、【子どもを育てるサポート】を広くしなければならない。男女両方の課題へ。お互いが納得して仕事・家庭の按分を選択できる社会の実現へ。産後のお母さんの精神的身体的な大激変は相当な負担。まずは、半径2メートルの空気を換えることから。応援しているよ！という空気をつくるのが社会を変える。 虐待、支援が必要なケースは1課だけ分かっている意味がない。グループ対応をし、担当変更になっても流れるような引き継ぎができるように、連携が必要。当事者にも相性はある、窓口は多く持ち、どこでも誰でも対応できる支援体制が安心感に繋がる。母子手帳交付時に保健師が丁寧に対応し、アンケートと一緒に書いてくれるような相談体制が出来ていれば、助けを求めることができる。お母さんの睡眠確保が1番大事。仲間がいて、行政に入ってもらい、産後の支援体制、支援事業を強化することが重要。 にじいろNPOは縦割り行政で繋がらない支援をNPOが行い、県市で第三者として介入しアドボカシーセンターを運営。虐待保護率日本一。佐賀県、福岡県の様々な部署と委託契約し、忸度なく子どものために言わないといけないことを言っている。自殺率は過去最多。こども家庭庁には期待しているが、本気度をみせてもらいたい。こどもはダメダメ言われると動けなくなる。いじめは加害者6%被害者9%傍観者85%と言われる。この85%の教育が重要。人は暴力支配を受けると、安心・自信・自由が奪われる。人類は昔からみんなで子どもを育ててきた。誰がいつから小さく分けたのか？ 地方自治体は人口が2万～5万人を割ると、こども関連の機能しなくなる。医療、学校など。こどもたちを地域で守る。例えば不登校対策にダブルスクールOKにするなどの施策も必要だと考える。学校は地域にないといけない。いじめ不登校過去最多、自閉症増加。不登校特例校をたくさんつくればいい訳ではない。特例校にたくさん登校している、もはや特例校ではない状態。教員配置基準も質的量的に考えていかねばならない。 予算を確保して施策を考えるのは間違いだ。まずこどもに必要な施策をやり決めて、予算をどこから確保するかを調整すべき。こどもには何でもやる。こどもの施策を進めれば30代前後の方がこどもを連れて帰ってくる。明石なら2人目3人目を産める。行政が支援してくれる。子育て中の親からお金は取らない。お金がないのは国や自治体ではなく市民だ。税金・保険以外のお金を出してあげるべき。 ヤングケアラーはお手伝いではなく、本来こどもがやるべき勉強や遊びが出来ない。障がいのある兄弟や家族のお世話に責任が伴う。	

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

- ・アンコンシャスバイアスを変えるには、まずは自覚することが重要。産前産後シートをお父さんもお母さんも記入してもらって、しんどさを自覚する必要がある。
- ・税金、扶養控除、女性の雇用実態や賃金格差の仕組み自体に問題がある。ペア、セット、パートナーになれば優遇される。国がやるべきことはやってもらい、自治体で対応できることはやって欲しい。
- ・虐待、支援が必要なケースの連携、共有会議では「当事者のお母さんや子どもさんがここで聞いていたらどう思うだろうね」「自分たち都合の進め方・議論はやめようね。」という意識を忘れないこと。届くべきところに必要な支援が届くように事業は必要ないものは見直し、必要なものはつくる。
- ・海外では赤ちゃんから大人への身体の変化や成長を丁寧に学び、親になる人、なった人のサポートをしている。どれだけ時間を作ってあげるのが大事。
- ・虐待やヤングケアラーは保護者にも子どもにも自覚がないケースもある。何気ない声かけや見守りで救えることもある。地域が子どもに寄り添って一緒に育てていく環境が本当に大事。
- ・子どもも保護者も困っているのは笑えない。市民が笑えるように、本来国がすべきことも自治体が突破口になるべきこともある。
- ・ヤングケアラーなどでスクールカウンセラーに相談する際、受けたい授業の時間に行かされる。まわりの目や勉強の時間を気にして相談したくない環境をつくっている。放課後ではだめなのか。大人には何もしてもらえないと思っていた。病院紹介や子どもの居場所づくりなど社会の仕組みづくりが必要。子どもの権利を理解し、必要なのは何か大人が話し合うべき。今ある支援で良いのか見直しすべき。